

『星陰りて、謀り響く』追加ハンドアウト

# アリアのスマートフォン

## 『カプリッチオ』

陰謀論者のマードーミステリー

条件: カード「アリアのスマートフォン」を所有／閲覧すること

パスコードを GM に伝えること

PC5 『カプリッチオ』 であること

ネタバレ防止用ページ

スマートフォンを開くと、まず通話アプリが目についた。

大量の着信履歴がある。

家族や「レン」からの番号が多い中、201年11月30日の国際電話が目を引き。

2回だけ。

γ国ジョカ市からかかっていたこの着信は、  
間違いなく、1年前、自分が掛けたものだった。

もう一つ、メモ帳のアプリが目立つように配置されていた。

中には大量のメモが残っている。

一つひとつのタイトルを見てみると、大切な人へのメッセージのようだが、  
宛てられた相手しかわからないであろうパスワードがかけられている。

その中で、一つのメモが目についた。

タイトルは「恋人へ」

カプリッチオへ

朝、あなたのいなくなった夢が始まります。突然いなくなったあなたに手を伸ばそうにも、どこにいるのかすら分からない夢です。

夜になれば会えるあなたは、少しずつおぼろげになります。優しい顔も、落ち着く声も、霧のように手をすり抜けます。このまま、カプリッチオを想う気持ちだけ残して、それ以外のすべてを忘れてしまうのでしょうか？

夏音を離れてごめんなさい。

私にはどうしてもヨウテラベに戻って研究をする必要がありました。『ハスター』の脅威から身を守る『エルダーサイン』は、かつてヨウテラベ市にあったハイドラ教団に伝わっていました。ついに見つけたエルダーサインを刻み、プレゼントとして周りの人たちに渡しました。

でも、カプリッチオだけはいないのですね。

エルダーサインを刻んだ指輪は、もう渡せないのですね。

カプリッチオへ。

きっともう死んでいて、この文章を読むことのないカプリッチオへ。

いまでもあなたが好きです。

どうしようもなく好きです。

命を絶てば、あなたに会えますか？

夢から醒めて、あなたに会えますか？

この気持ちさえ失くしてしまう前に、儚い身に刃を立てるのも悪くはないでしょう。

でも、あと少しだけ頑張ってみます。

みんなが守ろうとしてくれたこの国を、最後に残った私だけででも救ってみせます。

だから、あと少しだけ待っていてください。

それまでは、さようなら。